

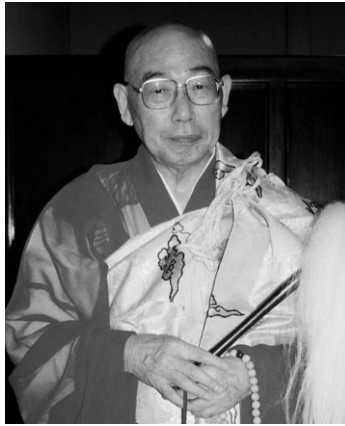
# 東光寺報

●編集・発行  
曹洞宗 東光寺  
☎359-0012  
所沢市坂之下383番地  
TEL /04-2944-3531  
FAX /04-2945-2408

## 退任のごあいさつ

東光寺兼務住職

松永全隆



向暑の候、ご尊家皆様愈々ご健勝の趣、大慶至極に存じ上げます。平素は東光寺護持運営に、特段のご尽瘁を賜わり衷心よりお礼申し上げます。

この度、平成十三年五月一日を以って、東光寺兼務住職の辞令を拝受致しましたが、本年五

月三十一日を以って退任させていただきます。長いただく事になりました。長いような、短いような九年間でありましたが、無事責務をはたせました事はこれ偏に檀信徒皆々様の信仰の結実であり、ご先祖に対する報恩謝徳の心の具現によるものと存じ、重ねて深甚なる謝意を表す次第でございます。

尚後任には、住職後任候補者でありました、渋谷俊成師が、住職の任を務める事となりました。住職としての責務を十分認識をし、檀信徒皆様のご期待に添え得るような努力を、傾注し

て下さるようお願いしている所でございます。二年前に遷化された、永平寺貫首宮崎奕保禪師の「仏性を生きる」(有)仏壇企画の本の  
中に、

「人生はあつという間に過ぎていきます。わたしたちの身体は朝日に消える露よりもはかないものです。どんな善いことをしても、過ぎ去った一日をよびもどすことはできません。それをただ生きているというだけでは、亡骸と同じことです。

しかし、百年を欲望のままにあちこち迷っていたとしても、そのなかの一日でも仏様の教えにしたがった行いをすれば、その百年をみな仏様の行いにしてしまう功德があるのです。

ですから、今日この一日の命を大切にしなければなりません。今日一日をわたしたちが仏様の教えにしたがって生きるとき、すべての人がみな永遠の仏となるのです。」

このような事を書き残しておられます。暮らしの中で、自分を見つめ、仏教徒として日々生きる事を念願しております。

東光寺檀信徒皆様の萬福多幸と東光寺の一層の発展をお祈り申し上げまして、退任の挨拶とさせていただきます。

合掌

